

群馬県立桐生南高等学校 学校評価一覧表 ① (平成25年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 選択科目を多く設定している教育課程に満足している生徒が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力・適性をさらに伸ばすため、授業を基本として、さらに授業の改善に努める。 外国語(英語)・数学の授業は、少人数制・習熟度別で実施し、達成度の高い学習環境を実現する。 教育課程を見直し、生徒の進路実現のための実態に即したものに改善していく。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を踏まえ、継続的に教育課程の見直しを図る。 定期考査や学力テスト、校外模試の結果を踏まえ、生徒の理解度、定着度を考慮しながら授業の工夫をする。 効果的な学習をめざし、少人数指導や習熟度別学習をさらに推進する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の徹底と生徒の学力の向上を図るために、生徒の実態を見据えながら継続的に教育課程の見直しを行う。 生徒の授業アンケート(年2回)の実施により、さらに授業の工夫・改善を図ることにより、生徒が自己肯定感を持てるような授業を目指し、達成感や満足感を持たせる。 少人数指導や習熟度別学習をさらに進める。 	
		② いずれかの部活動に所属し、向上心をもつてのぞんでいる生徒が80%以上いる。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が部活動と学習の両立を図れるように、顧問と担任、学年、分掌が協力し合いながら効果的な活動時間と成果が見られるように努める。 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒の部活動加入率は94%である。「部活動と学習の両立を図ろうとしている」と答えた生徒は72%、保護者は71%と高い値であった。職員は、昨年度以上に大会や発表会へ積極的に参加するように呼びかけ、また、部顧問は、積極的に部活動の指導に当たっている。担任、授業担当者、進路指導部と連絡を密にし、学習指導と部活動のスケジュール調整を行い、部活動を充実させる。 <p>【成果】バドミントン部(女子)全国大会出場、陸上競技部インターハイ出場</p>	D	C	<ul style="list-style-type: none"> 教員間で、どのような形が部活動顧問と担任・学年・分掌の理想的な連携の形であるかを検討し、よりよい形に変更していくと共に生徒の生活・学習両面の環境を整え、生活習慣を改善させ、生徒が部活動と学習の両立を図れるように、多方面から支援していく。 <p>【成果】バドミントン部女子 関東大会学校対抗第3位 少林寺拳法 関東大会個人第5位</p>
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事を通して学校への帰属感を高めると共に、学力の増進により自己への自信を醸成する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の精選により充実した学校行事を目指し、生徒自ら積極的に学校行事に参加していく内容としている。今後もこの形を継続していく。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のアンケート結果では約85%の生徒が本校を好きであると答えている。今後も学校行事の充実と生徒の自主性の育成に力を注いでいく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業が分かりやすい」と思っている生徒が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査や学習量調査のデータを集計、分析し、それらを学力向上対策に生かしていく。 二者面談・三者面談の方法を工夫し、生徒の実態把握と自己理解に役立てる。 授業アンケートを実施し、その結果を踏まえて、授業の工夫・改善を行っていく。 互見授業週間の設定により、各人の授業技術の向上を図る。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 各教科会議等を通じて情報交換を行い、「分かりやすい授業」の推進と言語活動の充実を目指す。 データの分析や面談等の結果を踏まえて引き続き生徒の実態を把握し、授業の工夫をする。 授業アンケートの結果を各授業担当の授業改善につなげるため、授業参観の充実と管理職と職員、職員と職員の情報交換を密にしていく。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査や学習量調査の結果を分析すると共にそれを生徒、保護者へ還元できるような方策を各教科・学年会議等で検討する。 面談週間だけではなく、必要に応じて日常的に面談を行うことにより生徒の実態を把握し、適切な指導ができるようにする。 授業アンケートに基づき授業改善に向け、授業改善推進委員会において解決策について検討する。 職員研修等を通じ授業力の向上を図る。 	
		3 生徒は確かな学力を身につけていますか。		⑤ 学習に対する達成感、満足感をもっている生徒が80%以上いる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する達成感・満足感に対する保護者のアンケート結果が昨年と同程度であった。授業改善推進委員会を中心に満足度向上に向け取り組みたい。 課外・補習等については概ね良好である。 保護者アンケートで「進路目標に応じた課外、補習が実施されていると思うか」の項目の数値は約70%となった。今後も継続して生徒の実態把握に努め、進路目標に応じた指導の工夫をする。 <p>【成果】進路希望調査で国公立大への進学希望者が25%</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する達成感・満足感に対する生徒用アンケートで「大いに満足している」「満足している」が全体の70%であった。前回の調査とあまり変化はなかった。その中でも、3年生においては約80%以上の生徒が満足しているという結果であった。学習意欲との相関関係が多分に影響をしている状況が見える。あらゆる機会を通して学習意欲の喚起に力を注いでいきたい。 課外・補習については概ね良好であり、今後も継続していく。 <p>【成果】埼玉大学・群馬大学への合格者も出した。</p>
	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月4回程度実施する。		<ul style="list-style-type: none"> 二者面談を定期的(学期に1度年間計画で設定)に実施し、結果を学年の会議等で情報交換することにより共有化を図ることにより、個に応じた指導を適切に行う。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 学年会議は毎週定期的に行われており、その中で情報交換は丁寧に行われている。 二者面談の充実により、生徒とのコミュニケーションの機会を増やす。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 学年会議(ほぼ月4回実施)において生徒の動向は毎回情報交換されている。それをもとに運営委員会、職員会議でも報告があり、職員全体に情報の共有がなされている。 二者面談、生活調査等の実施により学年を超えて組織的な教育相談の対応を行っている。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	⑦ 挨拶と「無遅刻・無欠席・無早退」を奨励し、年間を通し1日平均の遅刻率0.8%以下を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導や生活指導を徹底すると共に、担任と家庭とが協力して指導できるよう連絡を密にする。 社会性の育成を目指し、遅刻することのないような意識を持たせる。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 「遅刻0の日」は、1学期末で12日であった。繰り返し遅刻する生徒に対しては、段階的な指導を行う。 継続的に欠席する生徒へは、教育相談係と連携し指導を行う。また、家庭(保護者)との連携も密に行う。 <p>【成果】遅刻率は平均して0.39%である(1日1.85人)</p>	A		<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は良くでき、生活全般にわたって良い。 規則正しい生活を送っていると感じている保護者が約72%いる。 遅刻について「0人の日」が25日(～1/15まで) 具体的な数値目標を達成できるように、継続的に家庭と連携を図り指導していく。 <p>【成果】遅刻率は1月までで、0.49%</p>	
		6 生徒・保護者が安心できる環境ですか。	⑧ 学校が安心して学べる環境だと思っている生徒が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 時機に応じた健康管理や疾病予防等の情報提供を学校全体に行うと共に個別指導や支援も併せて実施していく。 安全点検が形骸化しないよう点検項目の検討や処置後の経過観察を積極的に行う。 安全指導や危機管理の職員研修を実施し、災害に備える体制を整備する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 疾病が指摘された生徒に対する受診の勧めや生徒対象に予防接種の推奨と啓蒙を継続する。 事前指導と事後指導を系統的に実施することで、生徒のより主体的な防災・避難訓練の参加を促す。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の9割、保護者の9割が本校は安全で安心して高校生活を送れる環境であると感じている。今後もこの状況を維持できるよう努力をしていく。 施設の老朽化ともない、より綿密な安全点検を実施するとともに、安全な環境を当たり前のものと思わず、より実効性のある危機管理体制の整備や校内研修等による職員生徒の意識向上を図る。
		7 計画的な指導を行っていますか。	⑨ 3年間を見越したキャリア教育や進路関係行事に対し、自己理解が深まり参考になったと満足している生徒が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な学習の時間(桜ナビ)」については、シラバス等で1年間の計画、3年間の目標を明確に示す。 各学年に進路行事係を置くことで学年と分掌の連携を深め、進路ガイダンスの充実を図る。 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が自己理解の上で進路選択ができるように、「総合的な学習の時間」・LHRの内容を改善していく。 <p>【成果】幼稚園実習へ14名参加し積極的に将来の夢に向かって努力している</p>	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 進路関係行事が自己理解のための参考になったかの質問項目に対する回答で「大いに思う」「思う」が約70%であった。今後、「総合的な学習の時間(桜ナビ)」の研究・改善を図り、桜ナビの有効利用を目指したい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑩ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 教科として統一した指導方法を確立し、定期試験や模擬試験の事前・事後指導に学校全体で取り組んでいく。 保護者進路学習会や面談等だけでなく、保護者に対して進路情報を進路通信という形で発信する。 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習量が平均3時間を超えるように各学年・教科と連携するとともに、学習意欲を喚起するような進路行事を企画ならびに立案していく。 保護者進路学習会に対する出席率は高くなってきている。一層の出席率の向上を目指し、内容等についても検討していく。 <p>【成果】各学年とも家庭学習量が増加している(1年105、2年85、3年169分)</p>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 自分の進路実現に積極的に取り組んでいるかの質問に対する回答で「積極的に取り組んでいる」「取り組んでいる」が63%であった。引き続き適切な情報提供を継続するとともに生徒への時機に応じた情報の提供と行事の改善に取り組んでいきたい。 保護者進路学習会の講師選定等の改善に向け取り組むたい。 <p>【成果】課外(冬期)への参加希望者が増加してきている。(1年106名 2年64名)(延べ人数)</p>	
		9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑪ 「学校の様子がよく分かる」と思っている保護者が80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ継続的に、保護者や地域の方々、中学生に対してウェブページ等を利用して、本校の情報を発信する。 	B	D	<ul style="list-style-type: none"> アンケートで「学校の様子が分かっている」と答えた保護者が50%と余り高いとは言えない。今後もウェブページ等を通じてより多くの情報を発信していく。 行事等の案内を配布し、保護者や地域の方々、中学生にできるだけ学校に来る機会を提供する。 <p>【成果】学校説明会実出席者637名 校内見学者356名</p>	B	C	<ul style="list-style-type: none"> アンケートで「学校の様子が分かっている」と答えた保護者は52%程度で、「あまり分からない」と答えた保護者は48%であった。このことを踏まえ学校に関心を持ってもらうためにウェブページ等を通じてより多くの情報を発信していく。 保護者に対して学校の指導方針を説明する機会を設ける。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 学校行事に保護者の参加を呼びかけていますか。	⑫ PTA総会、文化祭、体育祭の学校行事に参加する保護者が延べ80%以上いる。	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会等の内容を様々な角度から検討・工夫し、保護者の参加を促す。 PTA役員との連携により保護者の参加を促す。 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等に積極的に参加している保護者は、アンケート結果で66%である。学校とのパートナーシップを築くためにも、PTA役員との連携は勿論、クラス担任・部活動の顧問からの働き掛けをより強めていく。 <p>【成果】南陵祭保護者出席者数470名 南陵杯保護者出席者数100名</p>	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等に積極的に又は参加していると答えた保護者は、アンケート結果で63%程度で前回より4%低下した。学校行事が一段落したことも影響していると思われる。学校とのパートナーシップを築くためにも、PTA役員との連携をさらに強化していく。 	